

平成 25 年度第 3 回 横浜市技能文化会館指定管理者選定評価委員会 会議録	
議 題	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 報告書のまとめ方</p> <p>(2) 評価の決定</p> <p>(3) 総合評価</p> <p>(4) その他</p>
日 時	平成 25 年 12 月 25 日 (水) 午後 3 時 00 分から午後 5 時 15 分まで
開催場所	横浜市技能文化会館 5 階特別会議室
出席者	藤野委員長、小泉委員、菅野委員、武田委員、原委員
欠席者	なし
開催形態	非公開
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務評価表の「中項目単位」で評価を行い、講評を行う。</li> <li>・本日の議事録署名人については、委員長からの指名により、菅野委員に決定。</li> <li>・「報告書」を委員会の公表資料とする。</li> <li>・「報告書(素案)」は各委員の確認を得た後、微調整・最終確認については委員長に一任し、決定する。</li> </ul>
議 事	<p>(1) 報告書のまとめ方</p> <p>(事務局) &lt;資料に基づき説明&gt;</p> <p>○事務局案のとおり、「中項目単位」での評価・講評を行うことに決定。</p> <p>(2) 評価の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 (1) 利用の手続き等</li> </ul> <p>(委員) 報告書記載内容案に「技能職関係団体の利用予定や直前の貸室予約状況が……」とありますが、前回視察した際に、受付に掲示があったかと記憶しています。</p> <p>(事務局) 市民利用施設予約システムでは、直前 1 週間の予定は視認できないので、コメントに加えました。</p> <p>(委員) 指定管理者が既に対応していること(当日の予約状況の掲示)もあるので、「直前の」という表現は変えた方が良いと思います。</p> <p>○報告書記載内容については、前述のとおり修正する。</p> <p>○評価は、「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 (2) 利用料金の徴収</li> </ul> <p>(委員) 報告書記載内容の記述は、最初に評価できる点を述べて、次に改善点を並べるというスタイルで、各項目を統一したほうが良いと思います。</p>

○報告書記載内容については、前述のとおり修正する。

○評価は、‘B’とする。

・ 2 (1) 技能職振興に関する業務

(委員) 現在は熱心に取り組んでもらっているが、何かイベントを行う際は、当初の熱意を「継続」していただくことが重要です。(技能職者の)後継者問題には、子供を対象にした取組みで、技能を見せていくということを率先して行っていくことが必要です。

(委員) (23年度に実施したアンケート調査結果の活用に関して)「関心のある課題(技能継承と後継者育成)」について、もう3年目なのに、「各団体の状況を踏まえ、共に協力して考えていくことが必要」というのは、積極性が足りないのではないかと感じます。

(委員) 指定管理者も初めから技能の専門的な部分は分からないし、指定管理開始直後は、技能職団体との距離もあったので、(技能職の立場や状況が)分かってくるのに時間が必要であったのだと思います。

(委員) アンケート調査で技能継承と後継者育成にニーズが高いことが分かり、手を打てなかったにしても、将来的に何をしようとしているのかという視点はあってもいいと思っていたのですが、(その視点がないため)私も物足りなく感じました。

(事務局) 会館設立時からしばらくの間は、技能そのもののすばらしさを伝えていくことを中心に取り組んできました。現指定管理者になってからは、技能の継承、後継者育成は、小規模事業者の仕事があってこそ始めてできることだという視点を取り入れて考えるようになってきました。一方で、技能職の職種は幅広く、後継者に困っていない職種もあれば、職業として成り立ちにくくなっている職種もあり、交流を深めながら個別の実態を把握するのに指定期間の中間年まで時間を必要としたということだと思います。

したがって、以前は、経済的な視点での取組みはあまりなく、技能のすばらしさを伝えることに終始していましたが、現指定管理者になって、それだけでは十分ではないという思いもあり、現在に至っています。

(委員) 従来、中小企業支援といわれていたものが、政府の方でも、小規模事業者支援という表現に変わってきているので、会館事業でも積極的に支援してもらおうと良いと考えます。

(事務局) 中小企業支援については、横浜市も責務として行っていますが、あくまで「企業」に対する支援であって、「手仕事・手作業」の小規模事業者は「技能」の視点だけでとらえてきたところがありました。(現指定管理者は)企業支援の視点を取り入れるよう模索しているところだと思います。

(委員) 一元的に解決するのは困難な問題ですね。私も、単なる施設管理だけでなく、できる限り新しい提案が欲しいと随所で意見を出させてもらっています。

(委員) 技能の継承だけではなく、(小規模事業者が)経済的に継続して成り立つような支援の検討についても、報告書の内容に加えてください。

(委員) 評価については、業務管理としてももう少し(成果を)求めたいと考えると、'B'なのかと思います。

(委員) 私も、Bが妥当だと思います。現状に満足しないで(更に向上を期待する)応援の意味を込めての'B'です。

○報告書記載内容については、前述の内容を加える。

○評価は、'B'とすることに決定。

・ 2 (2) 雇用による就業を支援するための情報提供及び相談に関する業務

(委員) (各委員のコメントに記載されている)「経営者向けの相談……」が報告書案に見当たらないようですが。

(事務局) 御指摘のとおり漏れていますので、追加します。

これは、経営的視点という意味でしょうか。それとも、労務管理という意味でしょうか。

(委員) 先ほどにも話題にでた経営的なものという意味です。雇われる側だけでなく、雇う側の研修も実施してはどうでしょうかという意味です。

(事務局) 労働時間や社会保険等の労務管理という意味合いであれば、年数回は実施しています。経営アドバイスのようなことであれば、会館では実施していません。

(委員) 委員からのコメントで、「合同就職面接会の2回目の内定者が少なく残念だ」とありますが、事実として少なかったのですか。

(事務局) 数字としてはその通りです。

1回目が7月で、2回目が1月という「時期」の問題もあります。参加者は多かったが、なかなか内定につながらなかった状況です。

(委員) ニーズのないセミナーをいくらやっても無意味なので、参加者の多いセミナーを開催することは大切だと思いますが、求職者にとって役に立つセミナーはどういうセミナーなのかという青写真が最初ないと、その後の就職につながっていかないと思います。取組みの努力は認めますが、不満が残り、残念です。

また、情報コーナーに関する記述では、「公的支援制度」ではなく「公的な訓練」についての情報も増やしてほしいという趣旨の要望です。就職させるということについての情報は数多くありましたが、すぐに新しい就職先というステップを踏める求職者が多いわけではありません。新しいスキルを得るか、(身に付けているスキルを)ブラッシュアップさせてから次の仕事を探す求職者が多いので、公的支援がある無料の訓練に関する情報を充実させることは、就職に関する情報とともに大事ですが、そこが手薄です。横浜市の訓練校のパンフレットは分かりやすい場所に置いてありましたが、「求職者支援制度」については(配架に)気付きませんでした。無料でスキルアップできる機会があるという情報発信も、私は、会館に期待しています。

(委員) 昔ながらの終身雇用が壊れているので、流動化していく中で新しいスキルを身につけることは非常に必要なことですね。

(事務局) 雇用労働課所管でも技能文化会館とは別に、いくつか就労支援の機

能を持っていて、(情報発信も)複数行っています。(しごと支援センターと)別枠の就労支援事業では、就労支援そのものから(事業を)始めているため、かなり幅広く情報提供を行っています。これに対し、しごと支援センターは、元々在職の方が多く利用される労働相談からスタートした後、就労支援にまで(事業の範囲を)広げたため、就労に関する情報提供が足りない部分があるかもしれないと感じました。横浜市の他部署や県や労働局など平行にやっていますが、しっかりと情報提供をすることが大切だと感じました。

(委員) 評価についてですが、セミナーの回数も参加人数も非常に増えており、努力しているので、私は‘A’だと思います。

(委員) 私は、‘B’だと思います。セミナーの参加者が増えていることは分かるのですが、きちんとした青写真がない中で参加者を増やしているような気がして。もう少し、しっかり目標を持っていただきたいと思います。

(委員) 厳しく指摘を受けていますが、他の機関と(役割が)重複している部分もありますので、会館の業務としては‘A’評価で良いのではないかという印象です。

(委員) 指定管理者としては、情報発信についても率先して勉強していくべき点があると思います。これから先、市と連携して(情報発信を)行ってもらえれば良いと思います。

(委員) 仮に‘A’として、後ほど全体を通じて見直しましょう。ただ、このまま‘A’とした場合でも、事務局には、改善すべき点を留意事項として報告書に記載願います。

#### < 見直し時 >

(委員) ‘A’では高すぎると思うので‘A-’か‘B+’が適当だと思います。

(委員) 指摘されたところもありますので、‘B+’でいいのではないのでしょうか。

- 報告書記載内容については、前述のとおり修正する。
- 評価は‘B+’とすることに決定。

#### ・ 2 (3) 勤労者福祉の増進及び文化の向上に関する業務

(委員) パソコン講座はとても人気があり申込者数も多いようですが、受講者数をみると8人くらいの講座を開催しているようで、効率が悪いのではないのでしょうか。大きな部屋で、パソコンはリース契約で借りて実施してはどうでしょうか。

(事務局) 少人数制であるところ、丁寧なところを特徴にしているようです。

(委員) (後述の検討項目である)「自主財源の確保」で検討すべき内容かもしれませんが、需要があるのに申込を断っているような状況があるならば、自主事業が伸び悩んでいることもあるし、積極的な事業展開(受講者数を増やして、収益を向上すること)を考えてはどうでしょうか。

(事務局) 数年前までのパソコン講座は、履歴書や業務経歴書作成のための基本的な操作を学ぶという内容でしたが、現在は高度な知識を身に付ける講座もありますので、人数、会場施設、内容を見直しても良い時期かもしれません。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報告書記載内容については、前述の内容を加える。</li> <li>○ 評価は‘A’とする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 施設の管理に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報告書記載内容については、事務局案のとおりとする。</li> <li>○ 評価は、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 建築物・建築設備・附帯設備等の保守管理 …… ‘A’</li> <li>(2) 環境維持管理業務 …… ‘B’</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 4 その他の業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報告書記載内容については、事務局案のとおりとする。</li> <li>○ 評価は、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 事業計画書及び収支予算書の作成 …… ‘B’</li> <li>(2) 業務実施状況の確認 …… ‘B’</li> <li>(3) 個人情報保護に関する法令等の遵守 …… ‘B’</li> <li>(4) 人権の尊重評価 …… ‘B’</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 5 (1) コスト削減に関する取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>(委員) 大きなコスト削減というのは「最初」はできますが、その後が問題です。収入が下がっていく中で、更に削減できる場所を探していく必要があります。</li> <li>(委員) 「なお一層のコスト削減が必要」という表現ではなく、「今後も引き続きコスト削減の努力が必要」という表現に改めてはいかがでしょうか。</li> <li>(事務局) 「継続」という意味合いですね。</li> <li>(委員) コスト削減そのものは非常に良いと思いますが、それが逆に、他に影響していないか気になるので、他の努力（増収）も行った方が良いのではないかと感じます。</li> <li>(委員) コスト削減は数字に出てきますから、大変な努力をしたということ（評価）につながるのですが、反面、別の部分にコスト（削減分）をあてていく必要もあると思います。単に予算削減すれば良いだけの問題に留まらないということを望みます。</li> <li>(委員) 駐車場料金の決め方は、どのようになっていますか。</li> <li>(事務局) 近隣の状況をみて、指定管理者が設定しています。</li> <li>(委員) 20分100円、1時間で300円、1日1,000円が上限なので、長時間だと安いですね。</li> <li>(事務局) 昨年度、一日の上限を上げる検討をしました。周辺との価格差を調査したのですが、小さい車しか利用できない古いタイプ（規格）の機械式駐車場であり、価格を上げると周辺との競争に負けてしまいそうだということで、（値上げ見送りの）判断をしました。安いということは間違いないと思います。料金は、市と協議の上で、上限の範囲内で指定管理者が決定できます。</li> <li>(委員) 以前は夜間も利用できましたよね。</li> </ul> </li> </ul>
--	--

(事務局) 平成 22 年度に条例を変えた経過があります。それ以前は夜間の使用ができましたが、現在は技能文化会館が運営している 22:00 までとしています。

(委員) (技能文化会館は) 休館日はあるのですか。

(事務局) 月 1 回第 2 水曜日ですが、休館日でも駐車場は営業しています。

- 報告書記載内容については、前述のとおり修正する。
- 評価は 'A' とする。

・ 5 (2) 自主財源の確保に関する取組み

(委員) (当初提案との差額) 900 万円は相当大きな金額です。指定管理者としては、最終的に 1,800 万円に増やしていくつもりなのでしょうか。それとも、全体の中で調整しようということなのでしょうか。

(事務局) 現時点では、全体の中で調整しているという状態です。25 年度も 1,150 万円までは増やしていくということですが、それでも、当初の計画に比べれば少ない状況にあります。

(委員) 選定時の判断基準に「自主事業」があったので、気になります。

(委員) 選定の時と比較すると、リスクを負ってまで何かをするという意気込みが縮小していると感じます。

(委員) (各委員の) 評価は 'B' が多いようですが、自主事業の計画が未達になっているのは事実なので、注意を喚起するという意味でも、もう少し努力を求めよう報告書に書いていただいた方がよいと思います。

(事務局) 非常に丁寧に対応しながら事業を行ってもらっていると感じています。初年度は技能職団体や市民の方と軋轢があった時期もありましたが、その後、周囲との関係を大事にしながら積み重ねてやってきています。スピード感に欠ける部分はあるとは思いますが、その分、講座等の事業を行うにしても慎重に対応してもらっていますので、所管課としては安心感があります。

- 報告書記載内容については、前述の内容を加える。
- 評価は 'B' とすることに決定。

・ 5 (3) サービス向上に関する取組み

(委員) 報告書記載案にある「民間企業でこそ持ち得るノウハウで、発想の転換が必要」の具体的なイメージはどのようなものでしょうか。

(委員) 会館の中だけだと外から見えないので、目の前の広いスペース (大通り公園) を一体的に活用したらどうかと考えました。業務委託を超えたところで、民間企業の持つ色々な事業展開が反映されたら良いという希望です。会館だけで実現するのは難しいのかもしれませんが、行政と一体となって、活動の幅が年間を通じて広げられると良いと考えました。

(事務局) 大通り公園では色々なイベントが行われているのですが、情報を得ながら一緒にやっていくという意味合いですね。

(委員) 技文の存在を知ってもらうチャンスだと考えます。

- 報告書記載内容については、事務局案のとおりとする。
- 評価は‘A’とすることに決定。

・ 5（4）コンプライアンスの徹底

- 報告書記載内容については、事務局案のとおりとする。
- 評価は‘B’とすることに決定。

・ 5（5）利用率（稼働率）の向上

（委員） 現状 60%ぐらいですよ。先ほどあった料金の項目（1・（2））と併せていろいろ考えてもらうのが良いと思います。

- 報告書記載内容については、事務局案のとおりとする。
- 評価は‘B’とすることに決定。

・ 5（6）会館利用促進に向けた、情報発信・広報活動

- 報告書記載内容については、事務局案のとおりとする。
- 評価は‘A’とすることに決定。

（3）総合評価

（委員） 先ほどの「自主事業の拡大」と「料金体系の見直し」については、検討を求める旨、報告書にも加えてください。

（委員） 各委員コメントに「もう少し気軽に使えたら良いと思う」とありますが、どうしたらもう少し気軽に使えるようになるのでしょうか。現状、使い勝手が悪いというのが、どういうことなのか教えていただけますか。

（委員） 1階のホール（匠プラザ）には職人の道具が展示してありますが、飾っておくだけではなく、一般の人が気楽に入れるような工夫を、技能職者も一緒になって考えていきたいと思っています。今年は「匠の小学校」で1,000人以上の来場者で賑わったようですが、以前はイベントを行っても（会館に）入ってきませんでした。「入りづらい」という点が、一番問題だと思います。子供たちの関心を会館に向けるようなことをやっていけば、かなり賑やかになると思います。そして、子供たちの（技能職に対する）認識も変わってくるのではないかと思います。

（委員） 建築としてきれいな印象がないですよ。全面改修は難しいですから、せめて入口だけでも全面ガラスにするとか（できないでしょうか）。

（委員） 1階の配置、受付の配置は変えられないのでしょうか。

（事務局） 必要に応じて変えることはできます。過去に変えたこともあります。

（委員） 私も、最初来た時に、（匠プラザの）中を見てよいものか迷ったことがあります。レイアウトは重要なことです。

	<p>(委員) 気楽に入れたり、体験できるようになると良いですね。肩苦しさも感じます。</p> <p>(委員) 第一印象でかなり違いますからね。</p> <p>(委員) 職人の世界＝古い世界という印象になりますので、そうでないというところも見せないといけないと思います。新しい見せ方があると思いますし、博物館などもそういうところは工夫しています。</p> <p>(委員) 昔、大昔のことばかりを考えてもだめなので、時代に沿ったものを、アイディアの一つも出さないと世に出てこないですね。</p> <p>(委員) 無理やりに継承するのではなく、ニーズがなければ、それはそれで文化財として残し、新しいモノを生み出すという転換が必要だと思います。</p> <p>(委員) 収蔵品のデータベース化も終わっているのであれば、戦略的に出す(展示する)とか活用を考えてみてはどうでしょうか。</p> <p>(委員) イベントをやるにしても最初は盛り上がるのですが、年月が経つと(意欲が)薄れていきます。現在の技能職者は、一人か二人でやっている業者が多く、イベントの準備や当日の参加に負担感があるので、(意欲を継続して)盛り上げるようにしていくべきだと思います。</p> <p>(委員) 社会連携事業を行っていても、一過性で継続が難しい。派手にしなくても地味に継続することが一番大事だと思います。</p> <p>(委員) 報告書案の最初の部分、企業としての前に「民間」を補って民間企業としたほうが明確になると思います。</p> <p style="margin-left: 40px;">○ 報告書記載内容については、前述のとおり修正する。</p> <p style="margin-left: 40px;">○ 評価は‘A’とすることに決定。</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員会での意見は、「業務評価表」と「報告書素案」の形に事務局で整理する。</li> <li>・ 上記資料については、全委員に確認を依頼する。</li> <li>・ その後の微調整については、委員長に一任し、最終的な報告書としてまとめる。</li> <li>・ 最終的な報告書の公表は、3月末を予定。</li> </ul>
--	--

平成 26 年 3 月 19 日

議事録署名人  
横浜市技能文化会館指定管理者選定評価委員会委員

(菅野委員署名)